

だれでもできる 設計書管理

目 次

□ 設計書管理について		□ 施工計画書作成支援システムでの操作	
設計書管理機能マップ	1	15 工事概要を作成する	23
□ 設計書管理で登録する		16 機械・資材の使用計画を作成する	24
01 積算情報を取り込む	2	17 施工管理計画を作成する	25
02 山積み情報を確認する	5	18 施工全体フローを作成する	26
03 測点の作成と割り当てをする	6	19 施工方法を作成する	27
04 仕様書を選択する	7	□ 工程管理システムでの操作	
05 出来形管理基準を登録する	8	20 計画工程表を作成する	29
06 品質管理基準を登録する	9	21 山積みデータの連携	31
07 撮影箇所・写真管理基準を登録する	10	22 変更工程表を作成する	32
08 施工順序を登録する	12	□ XYH 座標入力での操作	
09 施工方法を登録する	13	23 座標に工種を設定する	35
10 設計表示数位を登録する	14	□ 安全管理サイガードでの操作	
11 設計変更・変更契約を登録する	15	24 工事内容を作成する	37
□ 出来形管理システムでの操作		25 作業ツリー・山積みデータの連携	38
12 工種データの連動	18		
13 測点の割り当て	19		
□ 写管屋での操作			
14 写真の分類フォルダーを作成する	21		

設計書管理について

設計書管理は、積算情報を取り込み、作業の付加情報として山積み（労務・機械・資材等）や測点、施工管理基準（出来形・品質・写真）、施工順序、施工方法、数量算出などを「デキスパート基本部」内で管理する機能です。ここで登録した情報を各ソフトウェアで利用することで、作業の効率化に繋がります。

設計書管理機能マップ

積算情報 P2

積算情報を取り込み、設計書データを登録

山積み情報 P5

積算情報の山積み情報を確認

測点 P6

測点を作成し、割り当て

出来形管理基準 P8

出来形管理基準を登録

品質管理基準 P9

品質管理基準を登録

写真管理基準 P10

撮影箇所・写真管理基準を登録

施工順序 P12

施工順序を登録

施工方法 P13

施工方法を登録

数量算出 P14

設計表示数値を登録

設計変更・変更契約 P15

設計変更・変更契約を登録

各ソフトウェアとのデータ連携・連動

出来形管理システム P18

設計書データのツリー表示

写|管|屋。 P21

写真の分類フォルダーを作成

施工計画書作成|支援システム P23

工事概要を作成

工程管理システム P29

設計書データの取り込み

施工計画書作成|支援システム P24

機械・資材の使用計画を作成

写|管|屋。サイガード P38

作業ツリー・山積みデータの連携

出来形管理システム P19

測点の割り当て

出来形管理システム 連動 P18

工種データの連動

施工計画書作成|支援システム P25

出来形管理計画の作成

施工計画書作成|支援システム P25

品質管理計画の作成

施工計画書作成|支援システム P25

写真管理計画の作成

施工計画書作成|支援システム P26

施工全体フローの作成

施工計画書作成|支援システム P27

施工方法の作成

設計変更システム 設計変更システム基本操作マニュアル参照

計算数量の複写

工程管理システム P32

変更契約から変更工程表の作成

XYH座標入力 P35

座標に工種を設定

写|管|屋。サイガード P37

設計書データの取り込み

A 納屋。 設計変更システム基本操作マニュアル参照

数量を表す文字列に工種を割り当て

工程管理システム P31

山積みデータの連携

施工計画書作成|支援システム P25

施工管理計画の摘要欄に取り込み

工程管理システム P29

計画工程表の作成

デキスパート基本部の設計書管理での操作

積算情報を取り込む

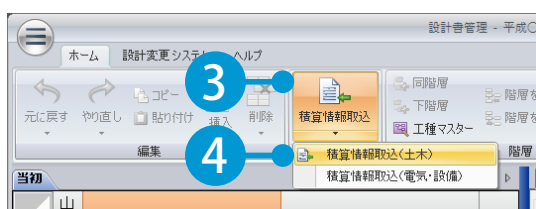
積算情報ファイルからデータを取り込みます。

01 | 設計書管理を起動し、積算情報ファイルを取り込みます。

- 1 工事一覧から、設計書データを管理する工事を
選択し、[設計書管理] をクリックします。



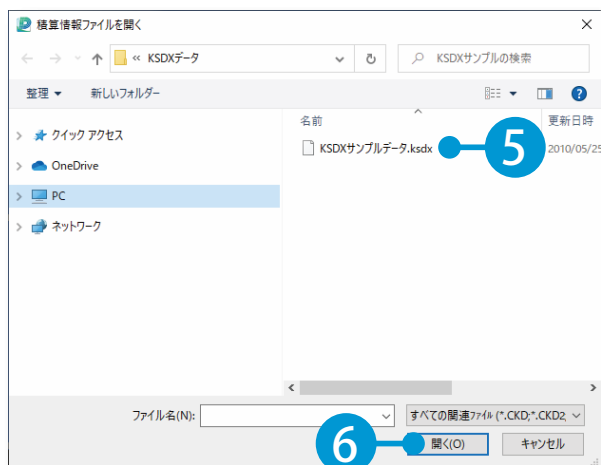
- 2 設計書管理画面が表示されます。
[積算情報取込] → [積算情報取込 (土木)]
をクリックします。



取り込み可能なファイル

取り込み可能なファイル形式は、KSDX
ファイル、CKD ファイル、CKD2 ファ
イルです。

- 3 積算情報ファイルを選択します。



ITES の取り込みについて

全国設備業 IT 推進会の見積標準フォー
マット「ITES」を取り込む場合は、「積
算情報取込」→「積算情報取込 (電気・
設備)」を実行してください。

4 取り込むデータを選択します。

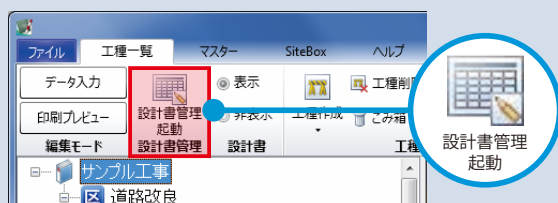


5 積算情報が取り込まれます。



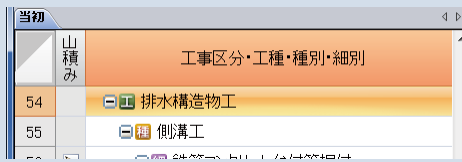
「設計書管理」の起動について

設計書管理は、各ソフトウェアにある[設計書管理起動]からも起動することができます。
起動時に、デキスパート基本部に戻る必要はありません。



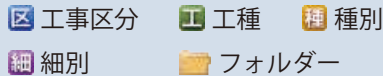
画面構成について

「設計書」欄

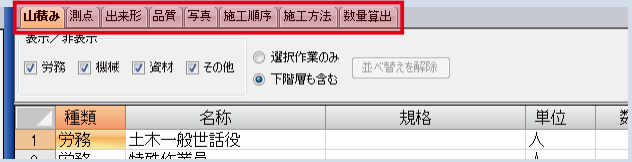


■「設計書」欄


積算情報ファイルから取り込んだ内容が作業として表示されます。また、直接入力もできます。各作業名には以下のアイコンが表示されます。



「付加情報」欄



■「付加情報」欄

山積み、測点、出来形・品質・写真の管理基準、施工順序、施工方法、設計表示数値を登録します。付加情報が登録されている作業名には  が表示されます。

※施工順序では、番号が表示されます。

表示項目を変更するには

[メニュー] ボタン→ [表示設定] → [設計書]、または [付加情報] をクリックします。



取り込んだ積算データは「設計書データ」として、以下のソフトで活用できます。

■ 施工計画書作成支援システム P23

作業名や規格・数量などを、工事概要の作成時に活用できます。

■ 写管屋 P21

作業名を写真の分類フォルダーとして活用できます。

■ XYH 座標入力 P35

登録した座標に作業名等を割り振ることができます。

■ 工程管理システム P29

登録した作業を取り込むことができます。

■ 出来形管理システム P18

出来形管理システム を起動すると、作業名（工事区分・工種・種別・細別）がツリー表示されます。

■ 安全管理サイガード P37

作業名を作業ツリーとして活用できます。

■ A 納図 [A-NOTE] 設計変更システム基本操作マニュアル参照

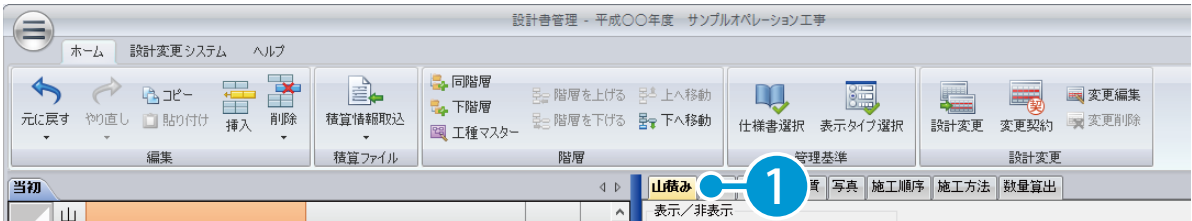
設計変更システムにて、数量を表す文字列に工種を割り当てることができます。

山積み情報を確認する

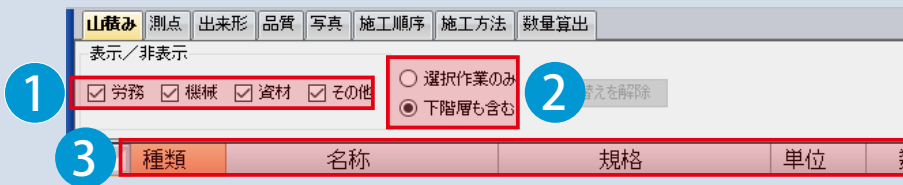
積算情報ファイルから取り込まれた、山積み情報（労務・機械・資材等）を確認します。

01 | 山積み情報を確認します。

- 1 [山積み] タブをクリックします。



山積み画面について



- 1 労務・機械・資材・その他の表示 / 非表示を切り替えます。
- 2 ■選択作業のみ 選択している作業の山積み情報を表示します。
複数選択している場合は、合計の数量が表示されます。
■下階層も含む 選択している作業とその下階層の作業の山積み情報をまとめて表示します。
同名の種類・名称・規格・単位の項目がある場合は、合計の数量が表示されます。
- 3 項目（タイトル）をクリックし昇順・降順で並び替えます。
並び替えを解除したい場合は「並び替えを解除」をクリックします。



山積み情報は、以下のソフトで活用できます。

■ 施工計画書作成支援システム P24

主要機材・指定機械・主要資材のデータとして、使用計画等の作成時に活用できます。

■ 工程管理システム P31

機械や労務の山積みとして活用できます。

■ 安全管理サイガード P38

作業手順書の作成時に、機械や資材の山積みとして活用できます。

測点の作成と割り当てをする

測点を作成し、作業ごとに割り当てます。

01 | 測点を一括で作成します。

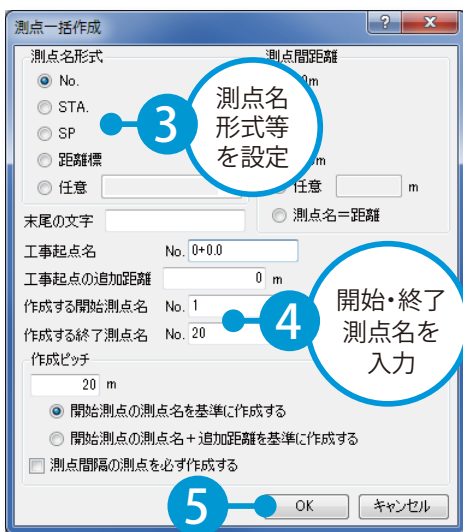
- 1 [測点] タブ → [一括作成] をクリックします。



測点を追加・挿入したい場合

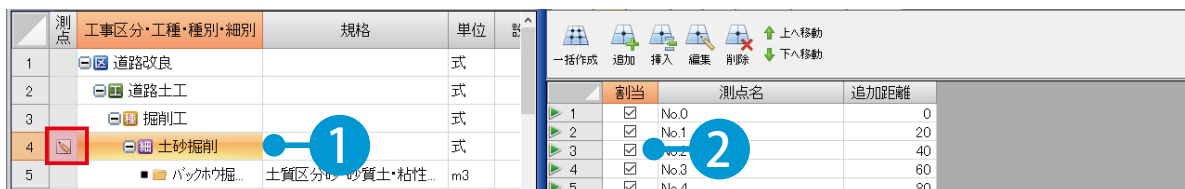
[追加] または [挿入] をクリックします。挿入する場合は、挿入したい位置の下の測点を選択し、[挿入] をクリックします。

- 2 測点一括作成画面が表示されます。各項目を設定します。



02 | 作業ごとに、管理する測点を割り当てます。

- 1 施工管理を行う作業を選択し、管理する測点の「割当」欄にチェックを付けます。チェックを付けた工種名に が表示されます。



登録した測点は、以下のソフトで活用できます。

出来形管理システム P19

割り当てた測点を、出来形管理の測点として活用できます。

施工計画書作成支援システム P25

施工管理計画の摘要欄に測点を貼り付けます。

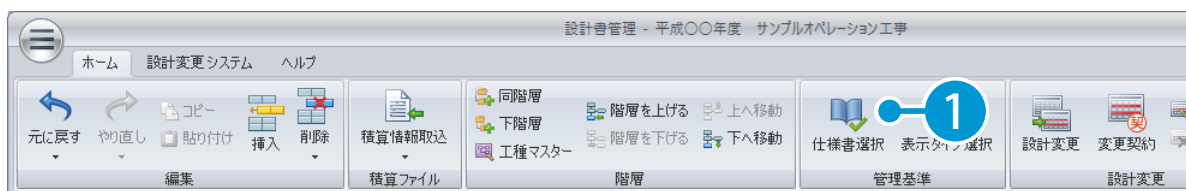
仕様書を選択する

規格値マスターから土木工事共通仕様書を選択します。

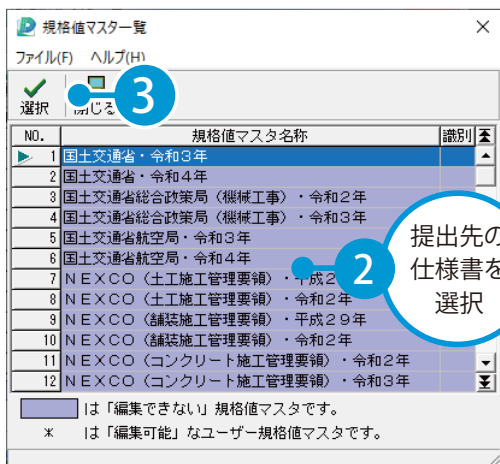
「出来形管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 規格値マスターから土木共通仕様書を選択します。

1 [仕様書選択] をクリックします。



2 規格値マスター一覧から、提出先の仕様書を参照します。

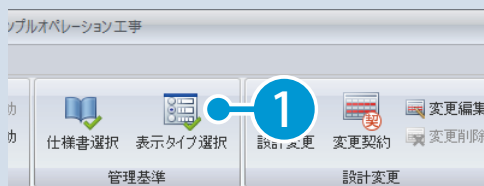


仕様書が表示されない場合は

規格値マスタ名称欄に仕様書が何も表示されない場合は、設計書管理を終了し、保守会員様専用サイトから施工管理基準マスターをインストールする必要があります。インストールが完了したら、「設計書管理」を実行してください。

施工管理基準の表示タイプについて

[表示タイプ選択] をクリックします。
施工管理基準のタイプを[土木タイプ][農林タイプ]
[港湾タイプ] から選択します。
選択したタイプにより、付加情報の出来形・品質・
写真タブに表示される内容が切り替わります。



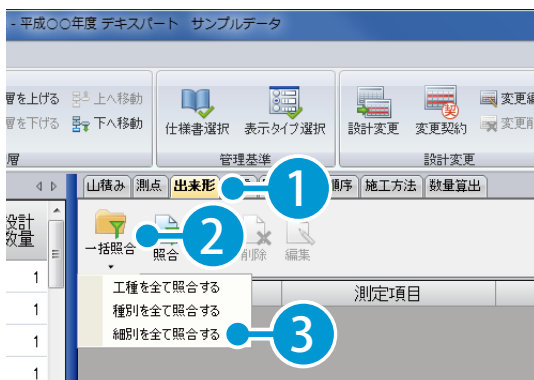
出来形管理基準を登録する

作業ごとに、土木工事共通仕様書に規定されている出来形管理基準を登録します。
複数の作業を一括で土木工事共通仕様書と照合できます。

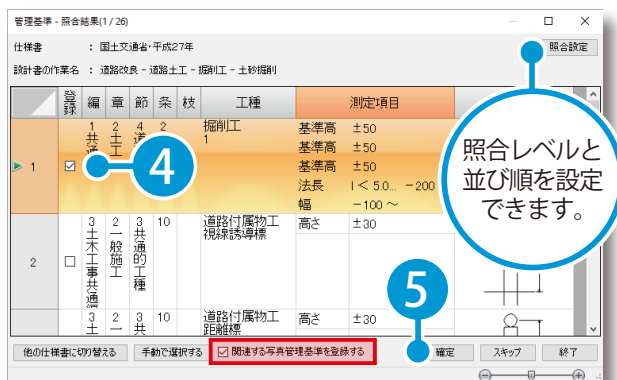
「出来形管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 出来形管理基準を一括照合し、登録します。

- 1 [出来形] タブ→[一括照合]→
[細別を全て照合する]をクリックします。



- 2 仕様書との照合結果が表示されます。該当する項目にチェックを付け、[確定]をクリックします。



※ [関連する写真管理基準を登録する] にチェックを付けたと、
[写真] タブ→[出来形管理写真] タブにも登録されます。
(表示タイプが「土木タイプ」の場合)

- 3 次の細別の照合を行います。

- 2 を繰り返し、すべての作業に出来形管理基準を登録します。

作業を選択して照合する場合

照合する作業を選択し、
[照合]をクリックします。



手動で登録する場合

照合する作業を選択し、
[手動]をクリックします。



登録した出来形管理基準は、以下のソフトで活用できます。

出来形管理システム P18

出来形管理基準が自動連動します。

施工計画書作成支援システム P25

出来形管理基準の作成時に活用できます。

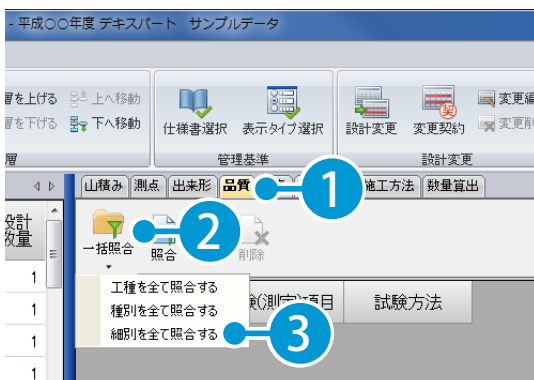
品質管理基準を登録する

作業ごとに、土木工事共通仕様書に規定されている品質管理基準を登録します。
複数の作業を一括で土木工事共通仕様書と照合できます。

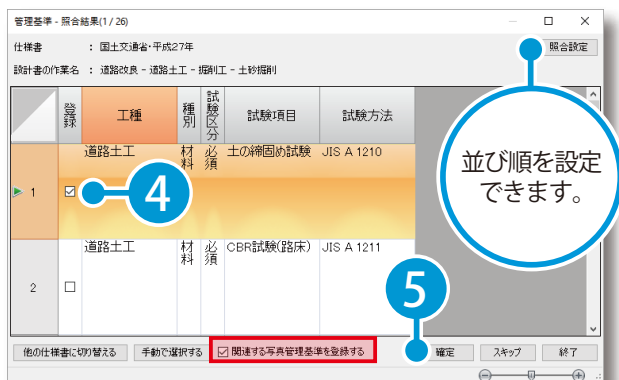
「出来形管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 品質管理基準を一括照合し、登録します。

- 1 [品質] タブ→[一括照合]→
[細別を全て照合する] をクリックします。



- 2 仕様書との照合結果が表示されます。該当する項目にチェックを付け、[確定] をクリックします。



※ [関連する写真管理基準を登録する] にチェックを付けると、
[写真] タブ→[品質管理写真] タブにも登録されます。
(表示タイプが「土木タイプ」の場合)

- 3 次の細別の照合を行います。

- 2 を繰り返し、すべての作業に品質管理基準を登録します。

作業を選択して照合する場合

照合する作業を選択し、[照合] をクリックします。



手動で登録する場合

照合する作業を選択し、[手動] をクリックします。



登録した品質管理基準は、以下のソフトで活用できます。

□ 施工計画書作成支援システム P25

品質管理基準の作成時に活用できます。

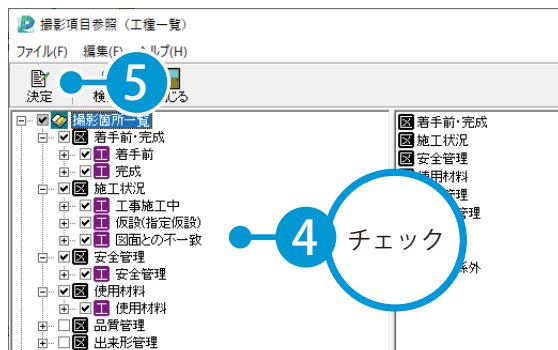
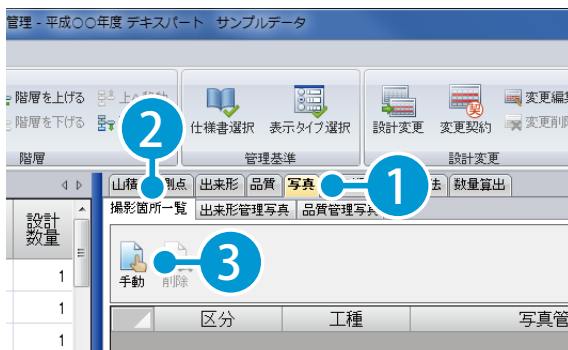
撮影箇所・写真管理基準を登録する

作業ごとに、撮影箇所と土木工事共通仕様書に規定されている写真管理基準を登録します。複数の作業を一括で土木工事共通仕様書と照合できます。

「出来形管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 撮影箇所を登録します。

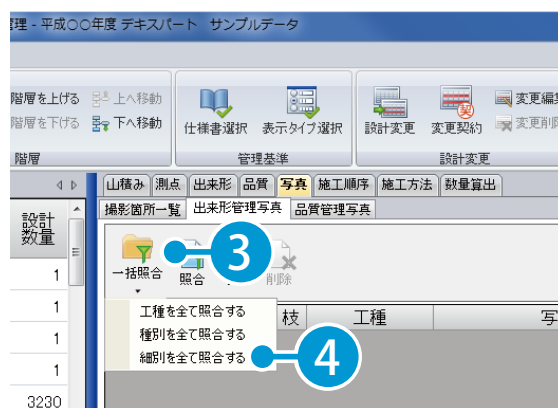
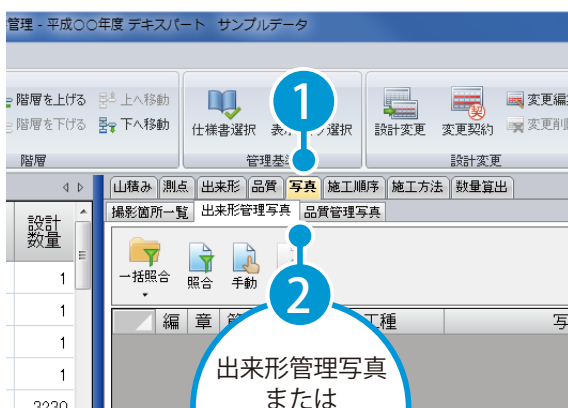
- 1 [写真] タブ → [撮影箇所一覧] タブ → [手動] をクリックします。
- 2 該当する項目にチェックを付け、[決定] をクリックします。



※撮影箇所の登録は、表示タイプが「土木タイプ」の場合のみの操作です。

02 | 写真管理基準を一括照合し、登録します。

- 1 [写真] タブ → [出来形管理写真] タブまたは、[品質管理写真] タブをクリックします。
- 2 [一括照合] をクリックします。
[細別を全て照合する] をクリックします。



- 3 仕様書との照合結果が表示されます。該当する項目にチェックを付け、[確定] をクリックします。



手動で登録する場合

出来形管理基準、品質管理基準の登録で、
[関連する写真管理基準を登録する] に
チェックを付けた場合は、すでに写真管
理基準が登録されています。
詳しくは P.8 ～ P.9 をご参照ください。

- 4 次の細別の照合を行います。

- 3 を繰り返し、すべての作業に写真管理基準を登録します。



登録した写真管理基準は、以下のソフトで活用できます。

□ 施工計画書作成支援システム P25

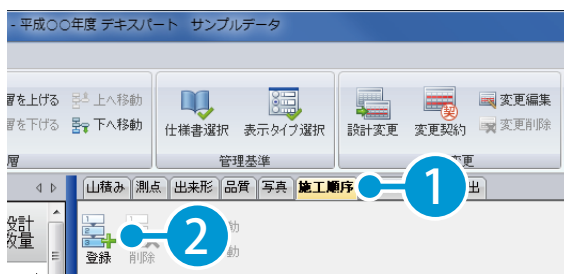
写真管理基準の作成時に活用できます。

施工順序を登録する

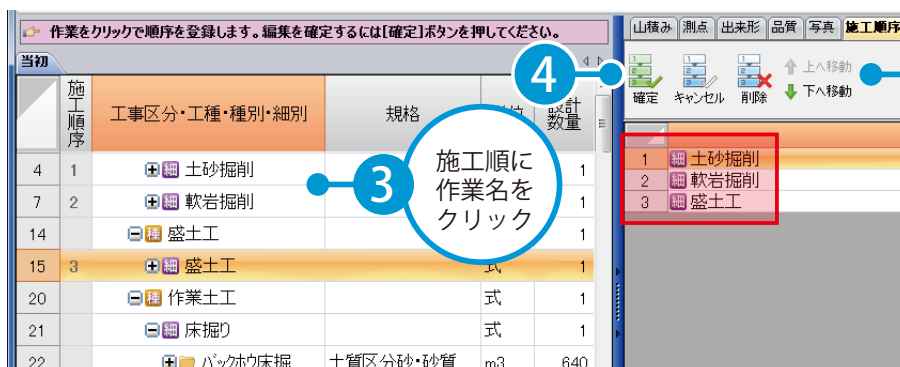
作業の施工順を登録します。

01 | 施工順序を登録します。

- 1 [施工順序] タブ→ [登録] をクリックします。



- 2 施工する順序で作業を選択し、[確定] をクリックします。



- 3 選択した作業順に、施工順序が登録されます。



登録した施工順序は、以下のソフトで活用できます。

■ 施工計画書作成支援システム P26

施工全体フローとして、施工方法作成時に活用できます。

■ 工程管理システム P29

計画工程表作成時に活用できます。

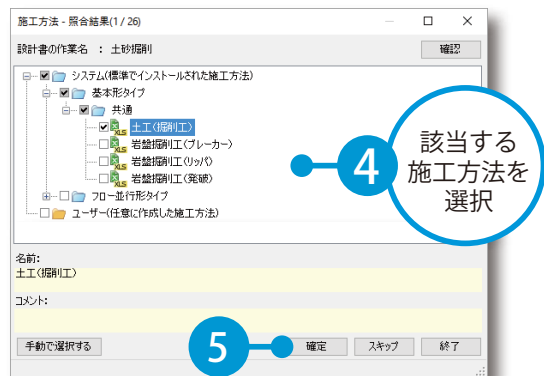
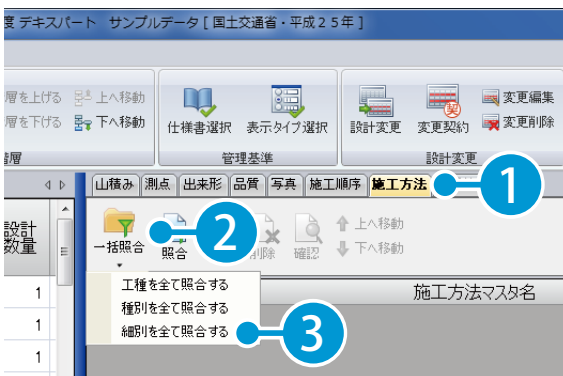
施工方法を登録する

作業ごとに、施工方法マスターから施工方法を登録します。
複数の作業を一括で施工方法マスタと照合できます。

「施工計画書作成支援システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 施工方法を一括照合し、登録します。

- 1 [施工方法] タブ→ [一括照合] → [細別を全て照合する] をクリックします。
- 2 照合結果画面が表示されます。該当する施工方法にチェックを付け、[確定] をクリックします。



- 3 次の細別の照合を行います。
2 を繰り返し、すべての作業に施工方法を登録します。

作業を選択して照合する場合

照合する作業を選択し、[照合] をクリックします。



手動で登録する場合

照合する作業を選択し、[手動] をクリックします。



登録した施工方法は、以下のソフトで活用できます。

■ 施工計画書作成支援システム P27

施工方法作成時に活用できます。

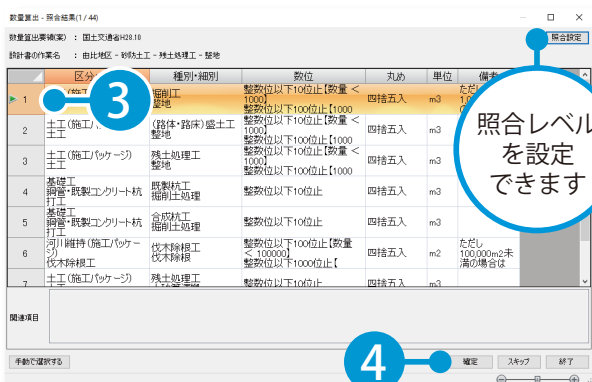
設計表示数位を登録する

作業ごとに、土木工事数量算出要領（案）の設計表示数位を登録します。

「設計変更システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 設計表示数位を一括照合し、登録します。

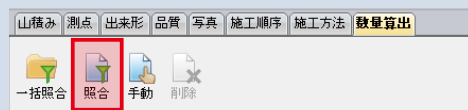
- 1 [数量算出] タブ→[一括照合] をクリックします。
- 2 照合結果画面が表示されます。該当する項目を選択し、[確定] をクリックします。



- 3 次の細別の照合を行います。
2 を繰り返し、すべての作業に設計表示数位を登録します。

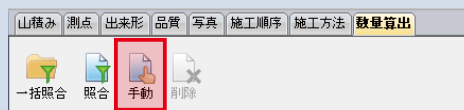
作業を選択して照合する場合

照合する作業を選択し、[照合] をクリックします。



手動で登録する場合

照合する作業を選択し、[手動] をクリックします。



登録した設計表示数位は、以下のソフトで活用できます。

設計変更システム 設計変更システム基本操作マニュアル参照

計算数量複写時に活用できます。

設計変更・変更契約を登録する

設計変更や契約変更を登録し、変更の積算情報ファイルを取り込みます。

01 | ここでは変更契約を登録します。

1 [変更契約] をクリックします。



2 変更契約画面が表示されます。
変更契約日、工期を設定します。

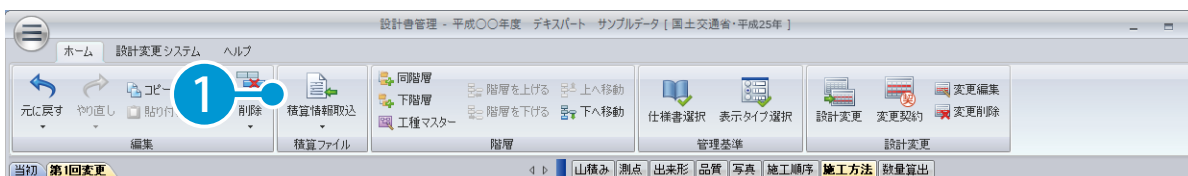


2 [第1回変更] タブが追加され、当初の設計数量が表示されます。

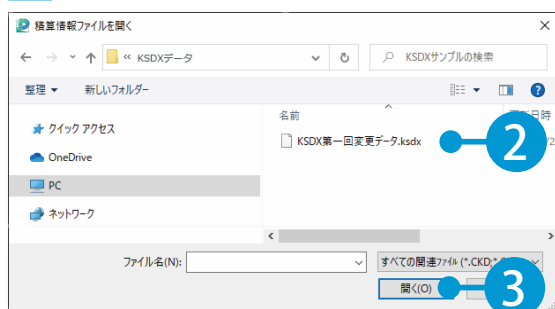
当初	第1回変更	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	変更数量
	1	道路改良		式	1
	2	道路土工		式	1
	3	掘削工		式	1
	4	土砂掘削		式	1
	6	軟岩掘削		式	1

02 | 変更契約の積算情報ファイルを取り込みます。

1 [積算情報取込] をクリックします。



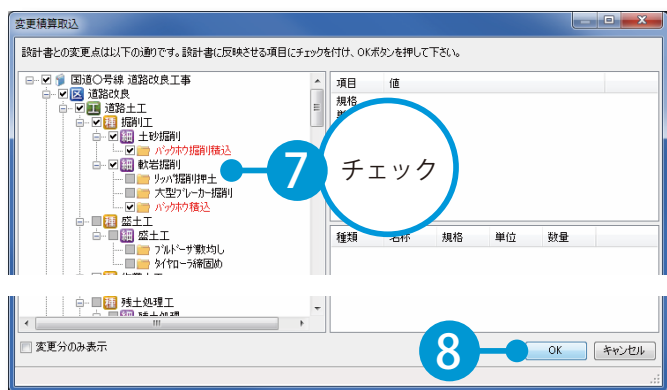
2 積算情報ファイルを選択します。



3 取り込むデータを選択します。



4 変更点がある作業が表示されます。設計書に反映させる項目にチェックを付けます。



5 積算情報が取り込まれます。変更のあった設計数量は、赤字で表示されます。

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	設計数量
道路改良		式	1
道路土工		式	1
掘削工		式	1
土砂掘削		式	1
バックホウ掘削機	土質区分砂・砂質	m3	3300
バックホウ運転	クローラ型 山0.8m3	時間	10.7
軟岩掘削		式	1



登録した変更は「変更履歴」として、以下のソフトで活用できます。

■ 工程管理システム P32

変更工程表作成に活用できます。

出来形管理システム

工種データの連動

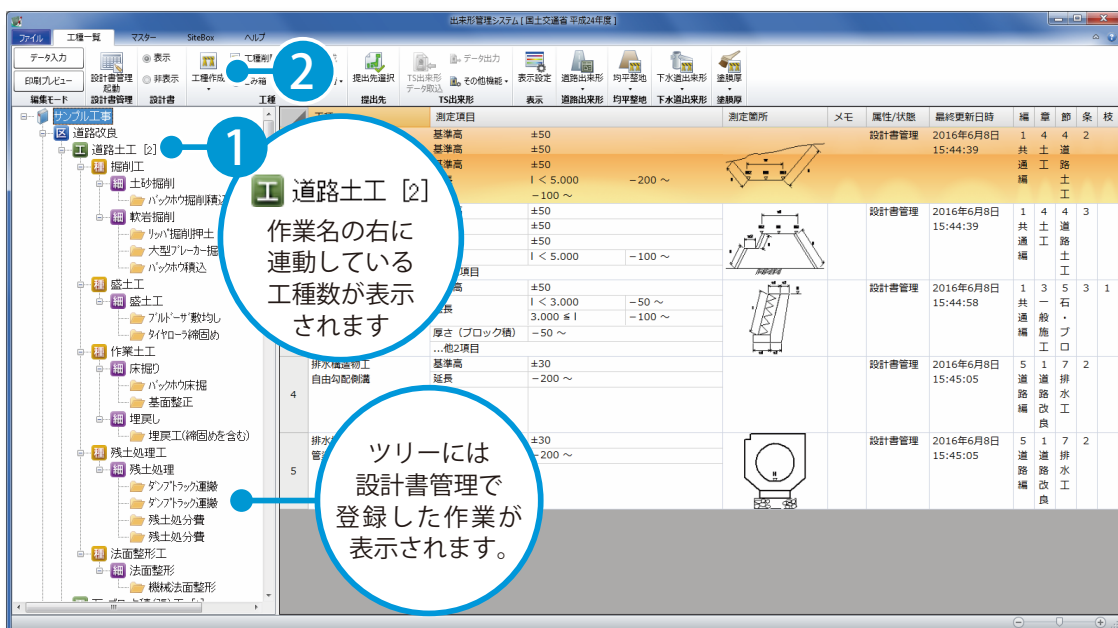
設計書管理で登録した出来形管理基準が、「出来形管理システム」の工種データとしてデータ連動します。

「出来形管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「出来形管理システム」を起動し、提出先を選択します。

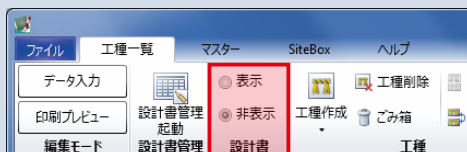
02 工種一覧画面に、設計書管理で登録した工種が表示されます。

1 管理する工種を追加する場合は、ツリーで作業を選択し、[工種作成] をクリックします。
作成した工種は設計書管理と連動します。



ツリーを非表示にするには

ツリーを非表示にする場合は、設計書の [非表示] を選択します。



⚠ 連動している工種を削除すると・・・

設計書管理と連動している工種を削除すると、設計書管理側でも出来形管理基準が削除されます。

出来形管理システムで削除した工種は「ごみ箱」に移動しますが、「ごみ箱」から元に戻しても連動は元に戻りませんのでご注意ください。

測点の割り当て

Lesson

13

設計書管理で作業に割り当てた測点は、「出来形管理システム」でデータ入力時の測点として連携します。

「出来形管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「出来形管理システム」を起動し、データ入力画面を表示します。

02 測点が作成されていることを確認します。

1 設計書管理で作業に割り当てた測点が、データ入力画面に表示されます。

No.0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10
1	基準高 (H1)			m		mm	±50			
2	基準高 (H2)			m		mm	±50			
3	基準高 (H3)			m		mm	±50			
4	法長 (L)			m		mm				
5	幅 (w)			mm		mm	-100 ~			

写管屋

写真の分類フォルダーを作成する

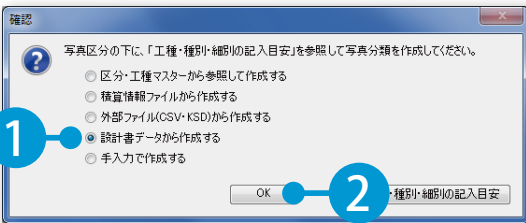
設計書管理の設計書データを利用して、写真の分類フォルダーを作成します。

「写管屋」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「写管屋」のデータベースを起動し、基準（案）を選択します。

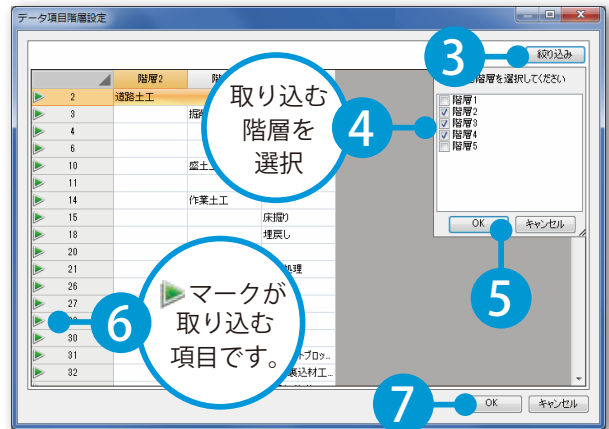
02 写真の分類フォルダーを作成します。

1 分類ツリーの作成方法から「設計書データから作成する」を選択します。

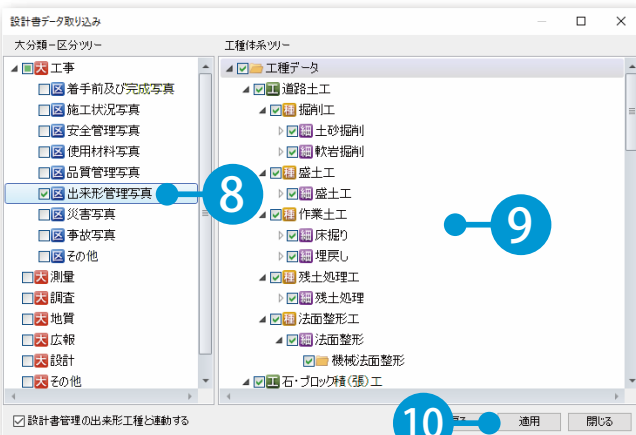


※初回のみ、自動で表示されます。

2 階層を絞り込み、取り込む作業名を選択します。

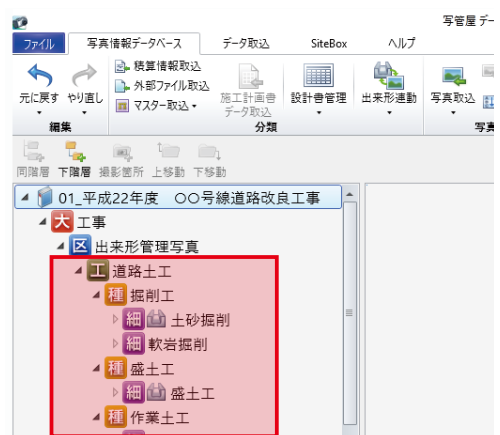


3 適用する区分、作業を選択します。



※出来形管理基準を登録した設計書データを取り込むと、出来形連動した状態で取り込まれます。詳しい手順については「写管屋 ヘルプ」をご参照ください。

4 分類フォルダーが作成されます。



施工計画書作成支援システム

工事概要を作成する

Lesson

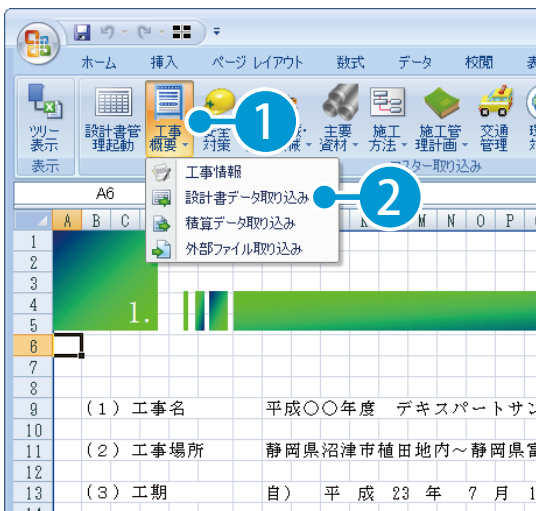
15

設計書管理の設計書データを取り込み、工事概要の工事内容を作成します。

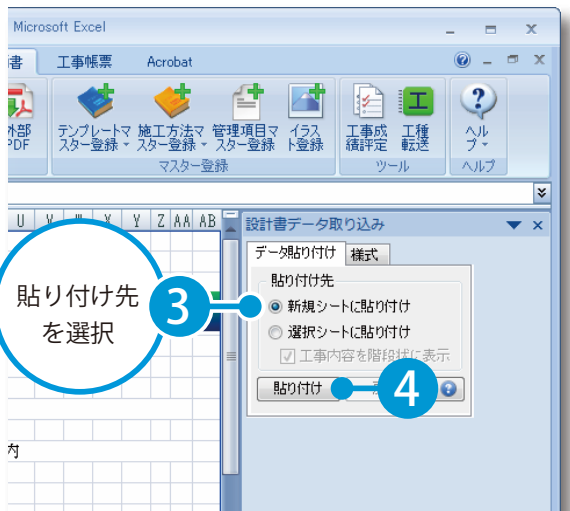
「施工計画書作成支援システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 設計書データを取り込みます。

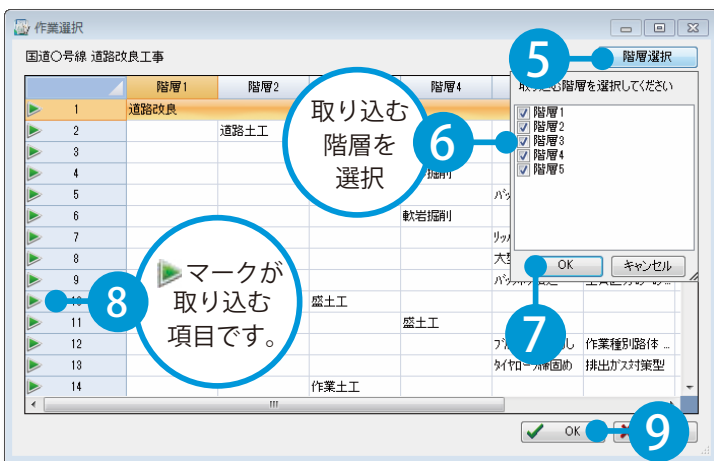
1 [工事概要] → [設計書データ取り込み] をクリックします。



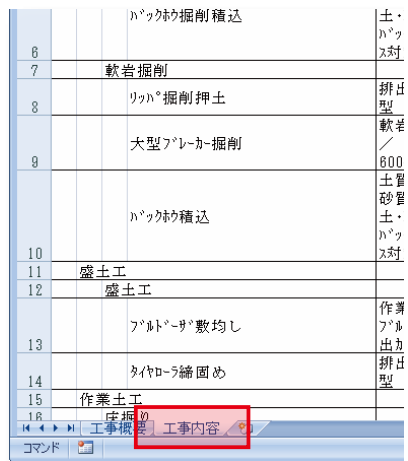
2 データの貼り付け先を設定します。ここでは [新規シートに貼り付け] を選択します。



4 取り込むデータを選択します。



5 工事内容が別シートに追加されます。



機械・資材の使用計画を作成する

設計書管理で登録した山積みデータを取り込み、主要機械・指定機械、主要資材の使用計画等を作成します。

「施工計画書作成支援システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | ここでは主要機械・指定機械の使用計画を作成します。

1 [主要機械・指定機械] → [設計書データ取り込み] をクリックします。



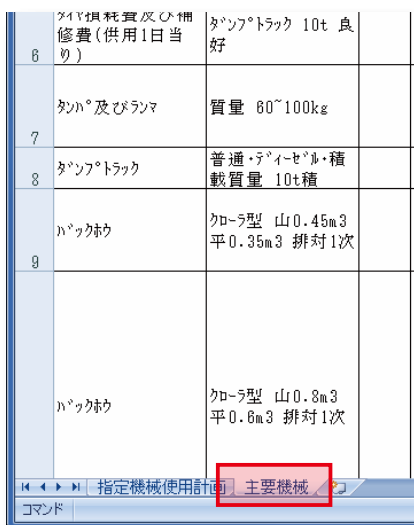
2 データの貼り付け先を設定します。ここでは [新規シートに貼り付け] を選択します。



3 取り込むデータを選択します。



4 主要機械が別シートに追加されます。



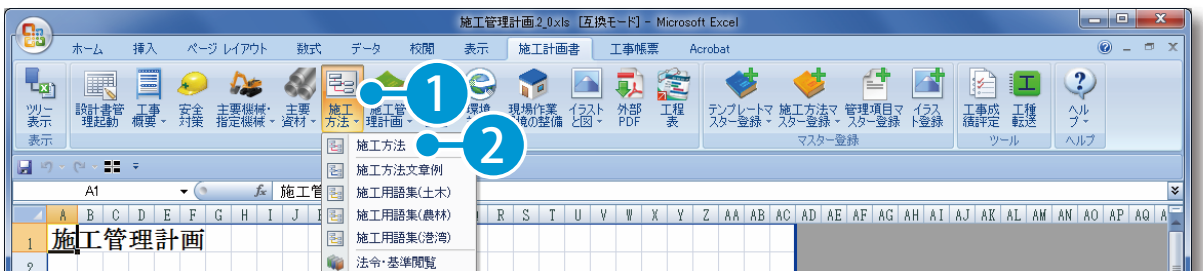
施工全体フローを作成する

設計書管理で登録した施工順序を取り込み、施工方法の施工全体フローを作成します。施工全体フローを作成することで、工事全体の流れが把握できます。

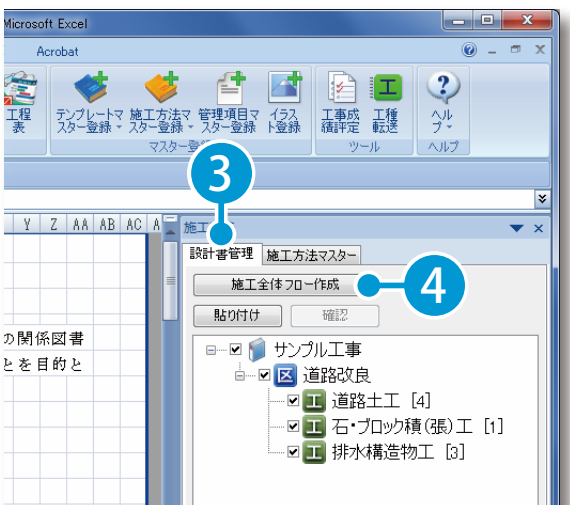
「施工計画書作成支援システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 | 施工全体フローを作成します。

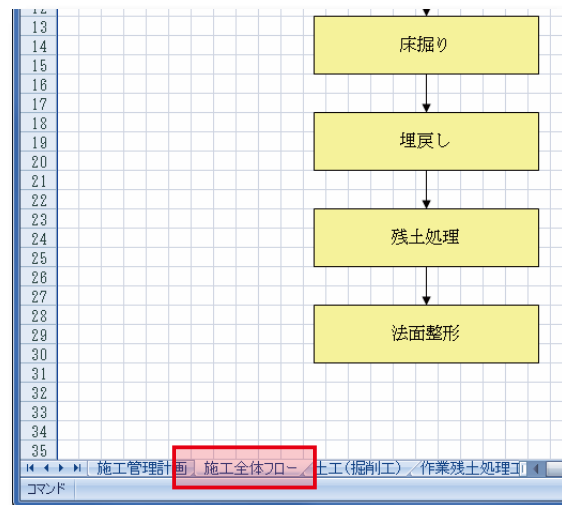
1 [施工方法] → [施工方法] をクリックします。



2 [施工全体フロー作成] をクリックします。



3 設計書管理で登録した施工順序で、
施工全体フローが別シートに追加されます。



施工方法を作成する

Lesson

19

設計書管理で登録した施工方法を取り込み、施工方法を作成します。

「施工計画書作成支援システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

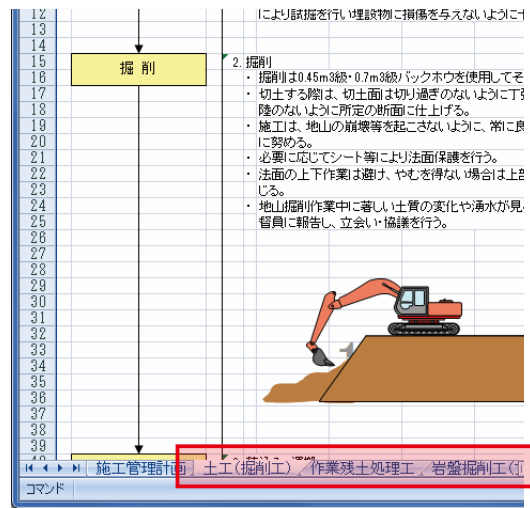
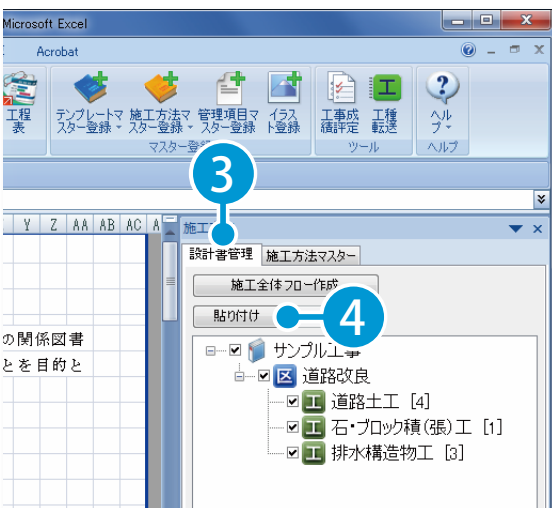
01 | 施工方法を貼り付けます。

1 [施工方法] → [施工方法] をクリックします。



2 設計書管理で登録した施工方法が表示されるので、[貼り付け] をクリックします。

3 施工方法が別シートに追加されます。



追加されるシートについて

設計書管理で施工順序を登録している場合は、施工順序の順番でシートが追加されます。

工程管理システム

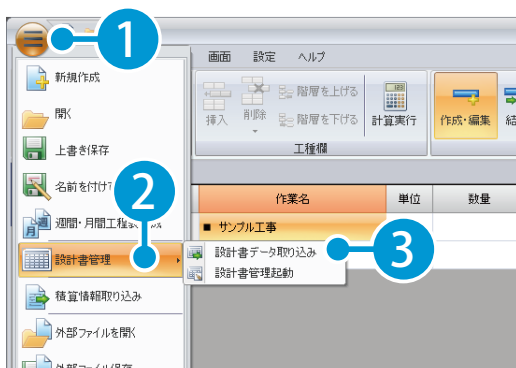
計画工程表を作成する

設計書管理で登録した施工順序を取り込み、計画工程表を作成します。
 施工順序でバーが引かれるので、かんたんに計画工程表の作成が可能です。

「工程管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「工程管理システム」を起動し、設計書データを取り込みます。

- 1 メニューから「設計書管理」→「設計書データ取り込み」をクリックします。
- 2 工期・休日・帳票を設定します。



- 3 作業選択画面で、取り込む階層、工種を選択します。



- 4 日進量を入力する場合は、「日進量」欄に入力します。

	作業名	単位	数量	日進量	実工数
1	サンプル工事				
2	道路土工	式	1		
3	掘削工	式	1		
4	土砂掘削	式	1		
5	バックホウ掘削積込	m3	3230	300	
6	軟岩掘削	式	1		
7	リッパ掘削併押し	m3	1380	340	5
8	大型フレカ-掘削	m3	56	39	2
9	バックホウ積込	m3	1436	260	6
10	盛土工	式	1		
11	盛土工	式	1		
12	フルドーザ敷均し	m3	970	980	1

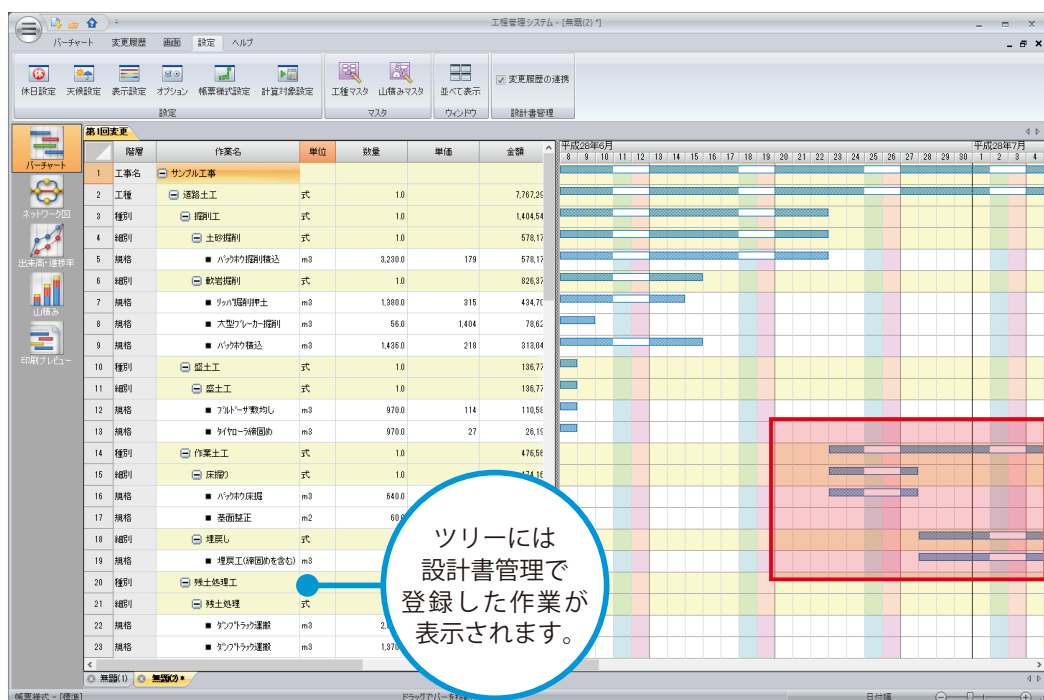
- 5 情報メッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

このデータを設計書データと連携しますか？

※設計書管理で変更契約した際に、設計書データと同期できます。
※連携の登録/解除は、リボンの設定タブからも変更できます。

はい(Y) いいえ(N)

- 6 設計書管理で登録した施工順序でバーが引かれます。



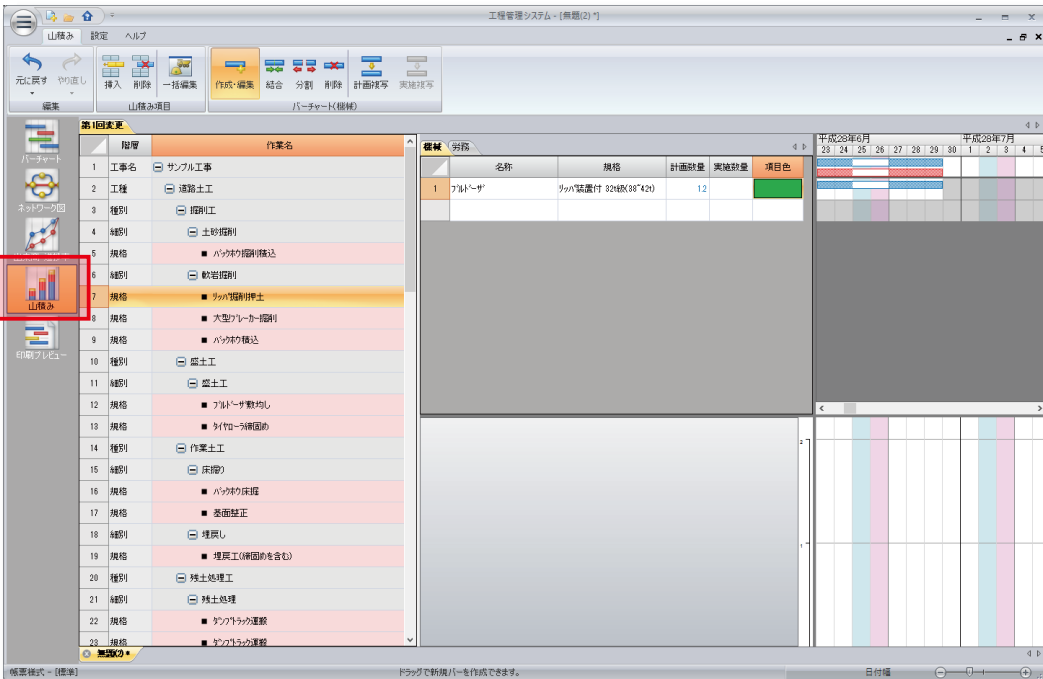
山積みデータの連携

設計書管理で登録した山積みデータが、「工程管理システム」の山積みとしてデータ連携します。

「工程管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「工程管理システム」を起動し、山積み画面を表示します。

1 設計書管理で登録した山積みデータは、山積み画面で表示されます。



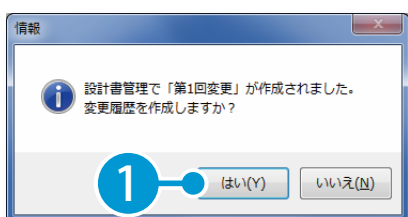
変更工程表を作成する

設計書管理で登録した変更契約は、「工程管理システム」の変更履歴として連携します。

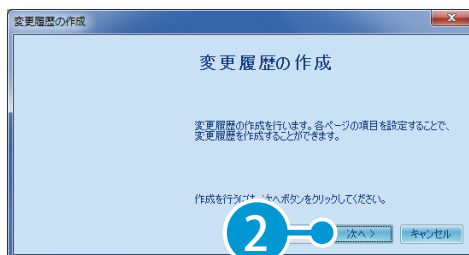
「工程管理システム」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「工程管理システム」を起動し、変更工程表を作成します。

- 1 「工程管理システム」を起動すると、情報メッセージが表示されます。



- 2 変更履歴を作成します。



- 3 変更履歴の情報を設定します。



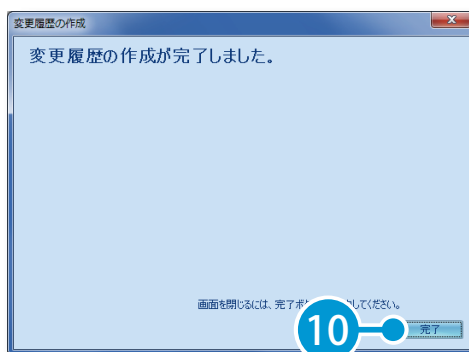
- 4 休止・中止期間を設定します。



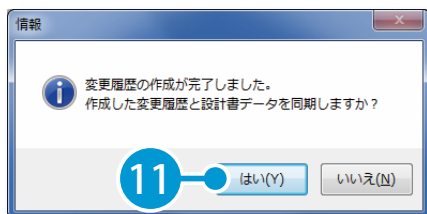
- 5 計画工程の作成方法を設定します。



- 6 変更履歴の作成を完了します。



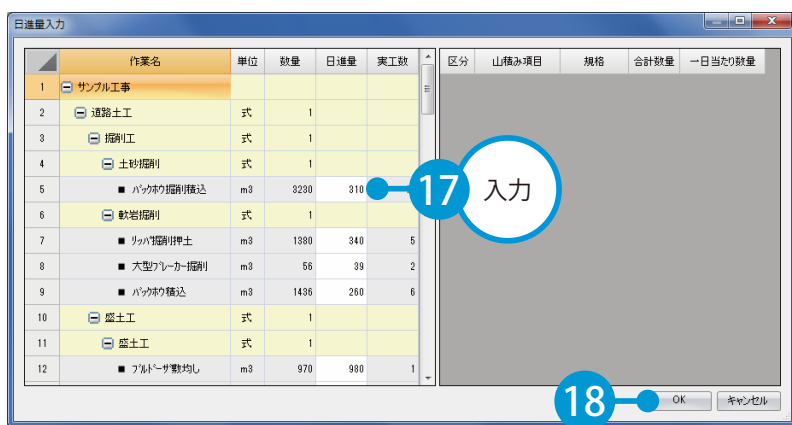
- 7 情報メッセージが表示されるので、設計書データと同期します。



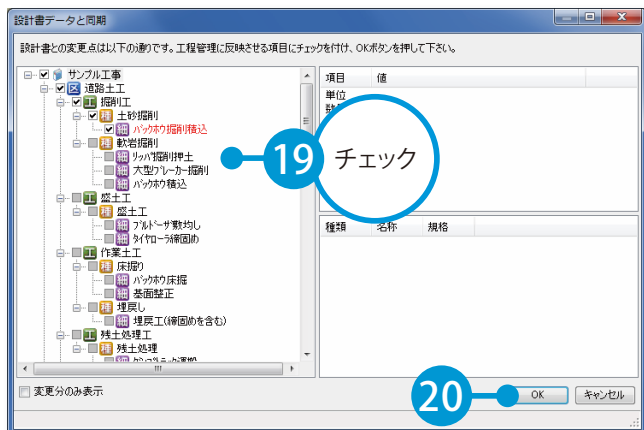
- 8 作業選択画面で、取り込む階層・工種を選択します。



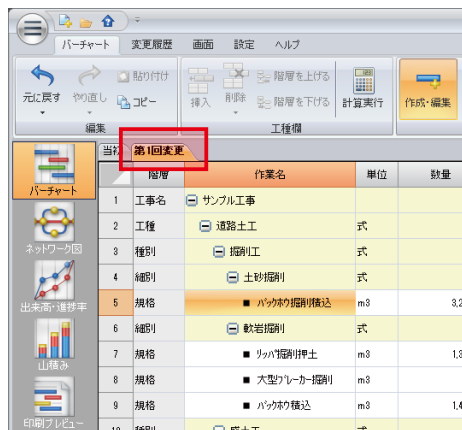
- 9 日進量を入力する場合は、「日進量」欄に入力します。



- 10 変更点が表示されます。「工程管理システム」に反映させる項目にチェックを付けます。



- 11 変更工程表が作成できました。



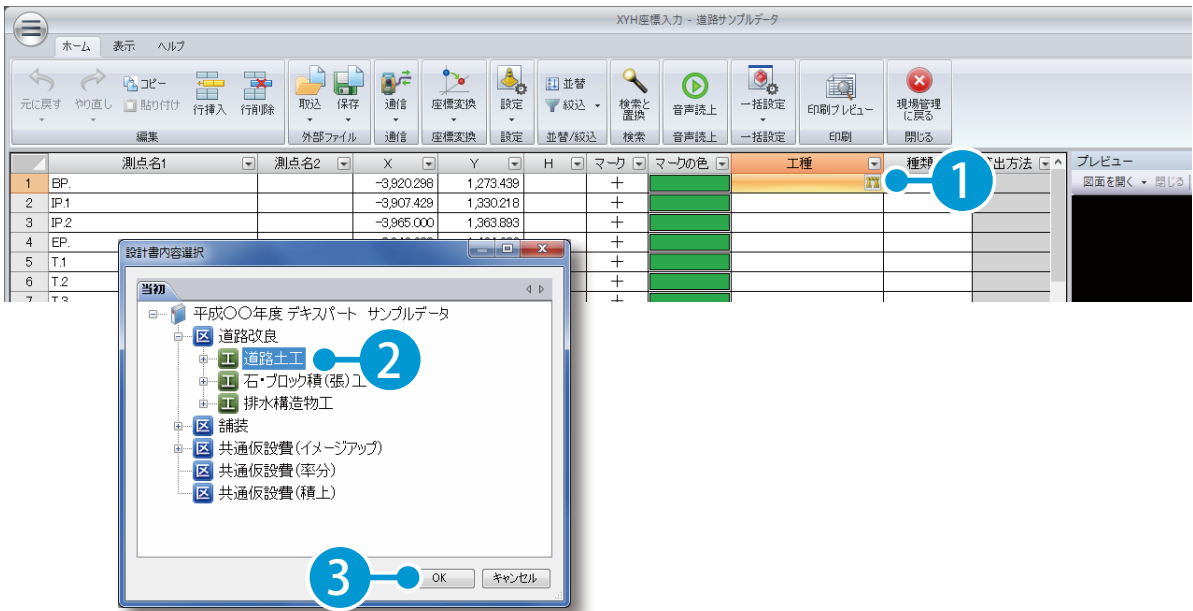
XYH座標入力

座標に工種を設定する

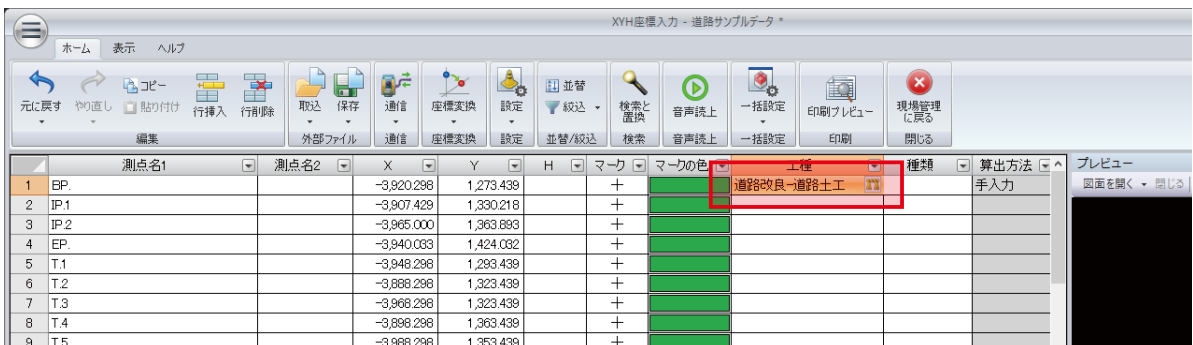
設計書管理で登録した作業を、座標に工種として登録できます。

01 「XYH 座標入力」を起動し、座標に工種を登録します。

- 1 工種欄の  をクリックすると、設計書内容選択画面が表示されます。
ツリーより工種を選択します。



- 2 座標情報に工種が登録されました。



安全管理サイガード

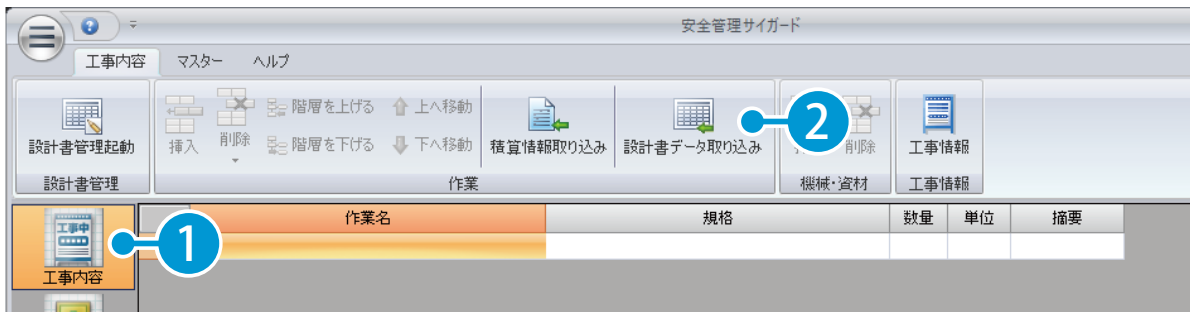
工事内容を作成する

設計書管理で登録した設計書データを取り込み、工事内容を作成します。

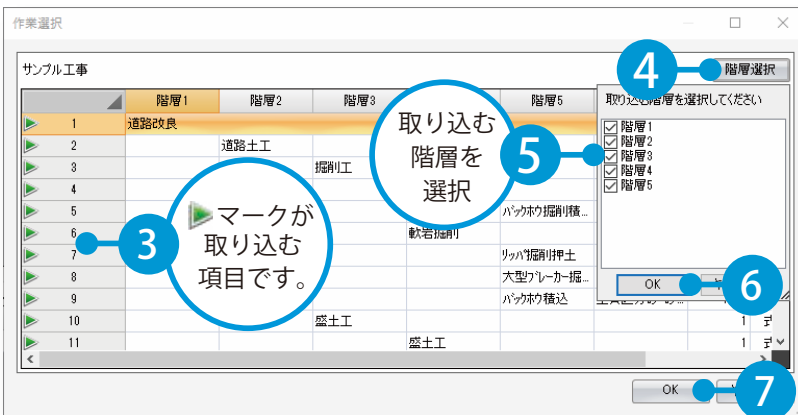
「安全管理サイガード」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「安全管理サイガード」を起動し、設計書データを取り込みます。

1 [工事内容] → [設計書データ取り込み] をクリックします。



2 取り込むデータを選択します。



作業ツリー・山積みデータの連携

設計書管理で登録した作業・設計書データが、「安全管理サイガード」の作業ツリー・山積みとしてデータ連携します。

「安全管理サイガード」をお持ちの場合にご利用できる機能です。

01 「安全管理サイガード」を起動し、作業ツリー・山積みが表示されていることを確認します。

1 [作業手順書] → [資格・山積み] タブをクリックします。

作業に必要な資格
(作業に必要な資格を追加してください。)

ツリーには
設計書管理で
登録した作業が
表示されます。

設計書管理で
登録した山積み
データが表示さ
れます。

種類	名称	規格
機械	バックホウ	クローラ型 山0.8m3 平0.6m3 排対1次
機械	ブルドーザー	リッパ装置付 32t級(38~42t)
機械	バックホウ	クローラ型 山0.45m3 平0.35m3 排対1次
機械	ざく岩機	大型フレカ 油圧式 600°800kg級
機械	ブルドーザー	普通 21t級(24~26t) 排対1次
機械	タイヤローラ	質量 8~20t 排対1次
機械	振動ローラ	搭乗式・コンバインド型 3~4t 排対1次
機械	タンバ及びランマ	質量 60~100kg
機械	ダンプトラック	普通・ディーゼル・積載質量 10t積
機械	タイヤ消耗費及び補修費	ダンプトラック 10t 良好
資材	軽油	ドラム
資材	レギュラーガソリン	スタッド
資材	残土投棄料	土砂
資材	残土投棄料	軟岩

⚠ 連動している作業ツリーを削除すると・・・

設計書管理側で工種を削除すると、安全管理サイガード側でも作業が削除されます。

ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe KK（アドビ株式会社）の商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにあるショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

KENTEM サポート

検索

株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787
2024 年 12 月 23 日 発行

このマニュアルは、基本部 Ver.7.04.00 の画面で作成しています。